

「お金のカタチ」ワークシート～経済編～

1. 下線に当てはまる言葉を考えて、穴埋めしてみましょう。

- ・金融緩和とは、金融市場の資金供給量が需要を上回り、資金調達がしやすい状況のことです。特に日本銀行による金融緩和のことは「大胆な金融緩和」と呼びます。
- ・財政政策とは、国が行う経済活動の政策のことです。具体的には、公共事業の拡大、東日本大震災の復興を加速させるためのインフラ整備や雇用確保、地域の活性化を行っています。政府が公共事業に投資することで、実際に公共事業を行う建設会社の雇用が増え、さらに会社の利益が増加すれば労働者の給料も上がるため、結果として消費が拡大するということが予想されます。
- ・インフレーション、略してインフレとは、物価が徐々に上がる状態のことです。同じ量のお金に対して、平常時に比べインフレ時は安いものしか買えないので、お金の価値は上がっているといえます。
- ・デフレーション、略してデフレとは、インフレの逆で、物価が徐々に下がる状態のことです。同じ量のお金に対して、平常時に比べデフレ時は高いものが買えるので、お金の価値は下がっているといえます。
- ・第一次世界大戦後のドイツは、戦争の影響で経済が混乱したほか、戦勝国から莫大な賠償金を課せられました。あまりに多額だったため、ドイツはとりあえず紙幣をたくさん発行し、賠償金の支払いに充てました。
- ・インフレ下で、政府が貨幣の供給をしたところで、価値が下がるスピードが著しく早いためすぐに使えなくなってしまい、結果的に無駄手間となってしまいます。そこで、各地方の役所が造幣局の代わりとなって小額紙幣を発行するようになります。これをノートゲルトと言います。
- ・その後の更なるインフレの加速により、高額なグロースゲルトが相次いで発行されます。あまりに大量のノートゲルトが発行されたため、どれが本物でどれが偽物なのか見分けがつかなくなるほどになっていました。

2. 景気対策として行われているアベノミクスですが、今現在、三本の矢と、それに加えられた新三本の矢が指標として掲げられています。では、あなたがもしこの指標を新たに、NEW三本の矢をつくるなら、どのような目標を掲げますか。理由とともに考えてみましょう。

1. → 地域を育てる社会基盤 理由→
2. → 豊かな次世代の育成
3. → 安定した生活の保障

例) 過疎化の進む地域の振興を進めることや、個性を伸ばす教育制度を確立させることで、多様性に富んだ人材を育成し、さらには、安定した生活を保障することで、活発な世の中、経済を作り出せると思ったから。